

令和 7 年度 社会福祉法人国際保健支援会 事業報告

1. 法人の概要

(1) 法人理念

人々の健康を保持するため、さまざまな支援活動を行う。

(2) 運営事業

事業所名	事業内容
介護老人保健施設つかまの里	介護老人保健施設
つかまの里短期入所療養介護	短期入所療養介護
つかまの里通所リハビリテーション	通所リハビリテーション
つかまの里訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション
つかまの里訪問介護ステーション	訪問介護
つかまの里居宅介護支援センター（休止中）	居宅介護支援
南天診療所	診療所
高齢者専用住宅埴生の宿	高齢者住宅

(3) 役員等の状況

理事 6 名

監事 2 名

評議員 7 名

2. 法人運営に関する事項

(1) 理事会 3 回

(2) 評議員会 2 回

(3) 評議員選任・解任委員会 2 回

(4) 監事監査 1 回

なお、令和 7 年 6 月に理事及び評議員の任期満了に伴う改選を実施した。また、令和 7 年 10 月に理事長の交代を行い、新たな執行体制のもと法人運営を推進した。

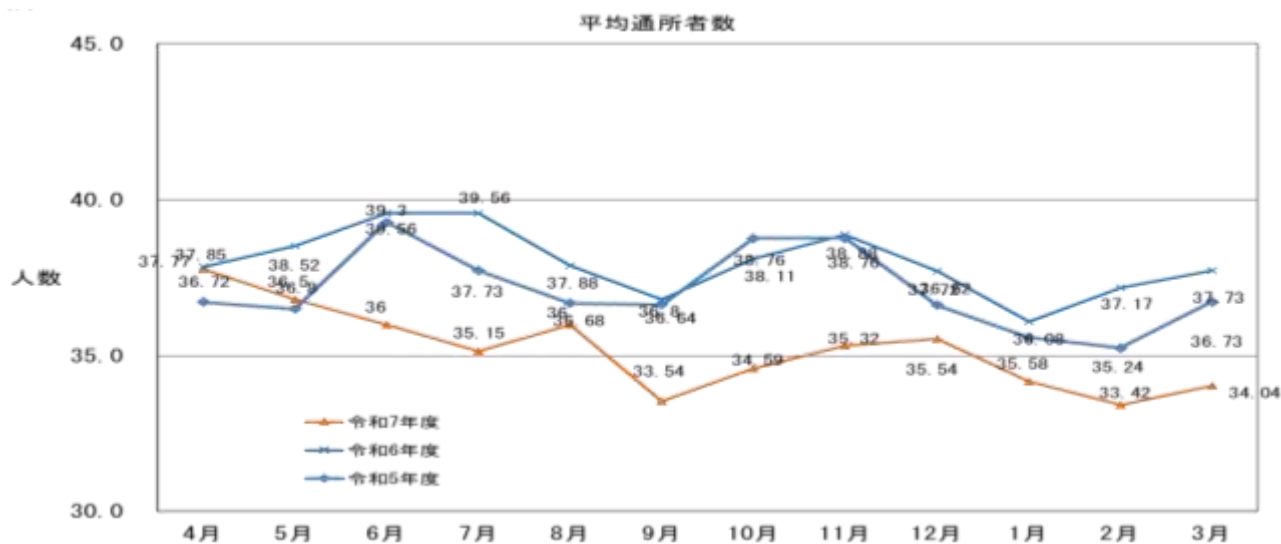
3. 各事業の実施報告

(1) 介護老人保健施設つかまの里（入所+短期入所療養介護）



入所及び短期入所療養介護の年間平均利用者数は 77.0 人、稼働率は 96.3%であり、前年と同水準を維持した。

(2) 通所リハビリテーション



通所リハビリテーションの平均利用者数は前年をやや下回ったが、短時間利用を含め柔軟な受入れを継続した。

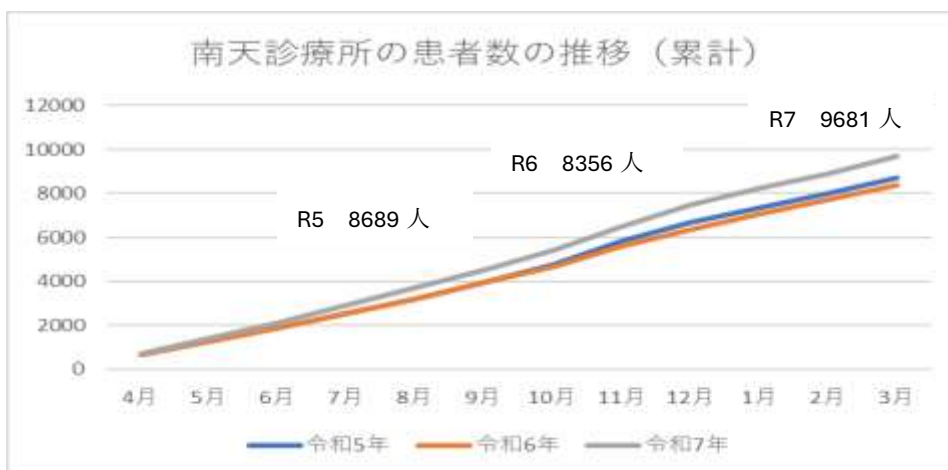
(3) 訪問リハビリテーション

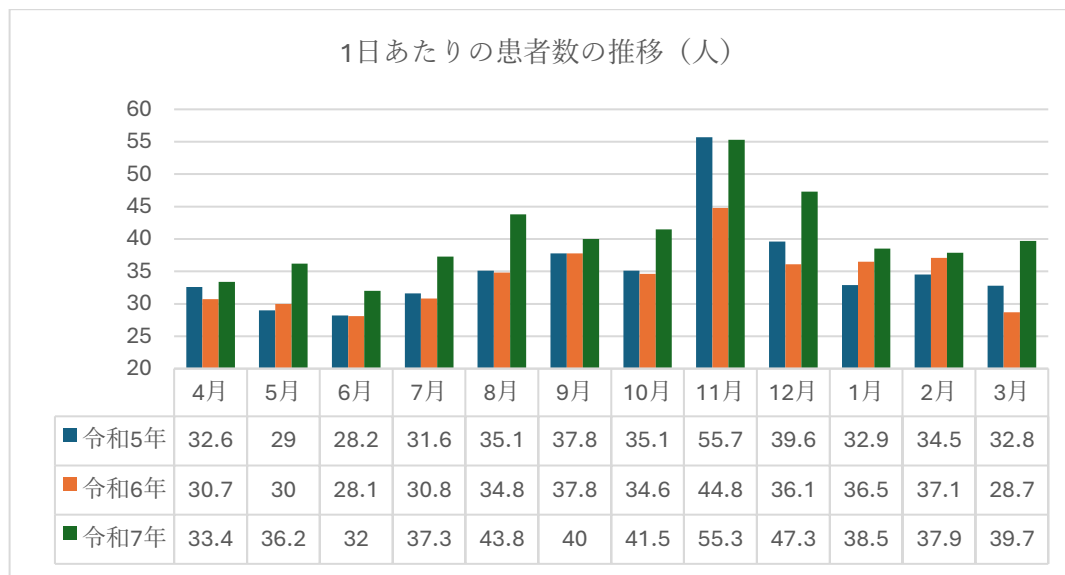


(4) つかまの里 居宅介護支援センター



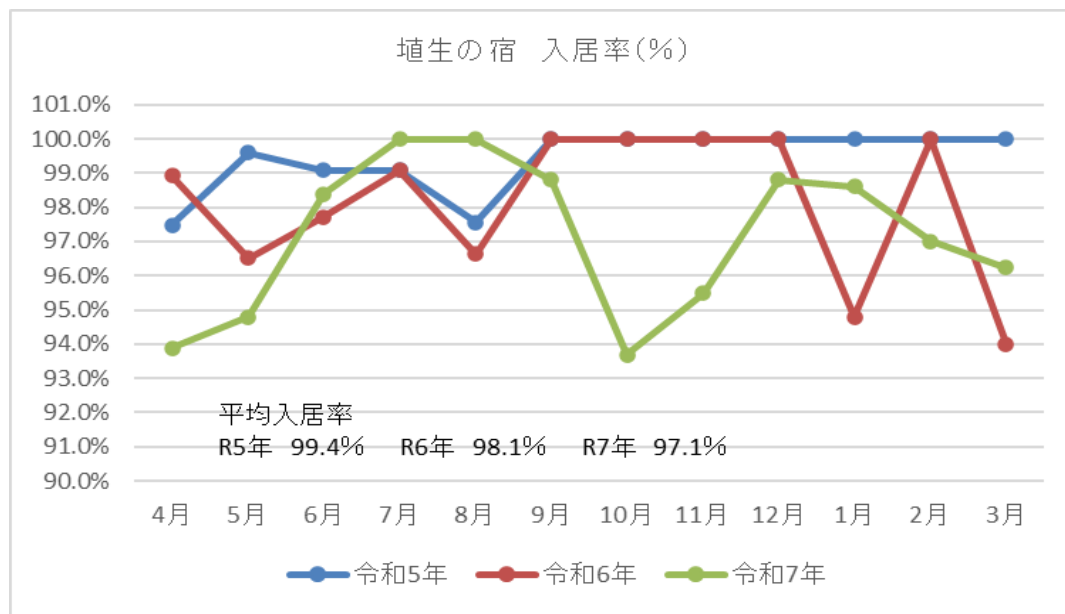
(5) 南天診療所





令和7年4月の診療所長交代を契機として、ホームページのリニューアルや施設案内看板の設置等の広報活動を推進し、新規外来患者の獲得に取り組んだ。その結果、外来患者数は前年を上回り、地域における医療提供体制の維持・充実に努めた。

（5）埴生の宿（訪問介護ステーション）



4. 人材確保・人材育成

（1）人材確保

① 新規採用者数 7名

- ・常勤 6名（介護士2名、看護師1名、作業療法士1名、事務2名）
- ・パート1名（理学療法士）

②退職者数 5 名

- ・常勤 1 名（介護士）
- ・非常勤 4 名（介護士 1 名、看護師 1 名、理学療法士 1 名、事務 1 名）

(2) 人材育成

- ・研修実施状況

令和7年度 職員勉強会計画

①毎月第2水曜日17:45～19:00<前期>

②毎月第4火曜日17:45～19:00<後期>

月	日(曜日)	研修内容	講師
4	9日(水)	理念 今年度の目標 組織他	横内理事長
月	22日(火)	接遇	千野療養部長
5	14日(水)	☆BCP・・・防災	委員会
月	27日(火)	☆感染対策	委員会
6	11日(水)	☆安全対策	委員会
月	24日(火)	☆身体拘束・虐待等	委員会
7	9日(水)	レクリエーション研修	外部講師
月	22日(火)	倫理及び法令遵守に関する研修	千野療養部長
8	13日(水)	祝	
月	26日(火)	○急変時の対応	看護
9	10日(水)	ハラスメント研修	外部講師
月	23日(火)	祝	
10	8日(水)	プライバシー保護の取り組みに関する研修	外部講師
月	28日(火)	☆感染対策	委員会
11	12日(水)	☆BCP	千野療養部長
月	25日(火)	☆褥瘡対策	委員会
12	10日(水)	☆安全対策	委員会
月	23日(火)	☆身体拘束・虐待等	委員会
1	14日(水)	認知症及び認知症ケアに関する研修	委員会
月	27日(火)	○ターミナルケア	看護
2	12日(木)	介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	鈴木事務局長
月	24日(火)	労働安全衛生(腰痛)	委員会
3	11日(水)	☆口腔ケア	委員会
月	24日(火)	医療に関する研修	医師

5. 施設整備および設備投資

(1) 介護事業

① ICT 機器の導入（介護テクノロジー導入支援事業補助金を活用）

- ・介護記録システム「ほのぼの NEXT」の導入
- ・介護業務支援システム「AAMS」の導入

② 車両更新

- ・通所リハ送迎車両の更新（3 台）
内訳）日本財団助成による福祉車両 1 台の導入（更新）
老朽化した送迎車両 2 台の更新

（2）医療事業

- ① ICT 機器の導入（業務改善助成金を活用）
 - ・オーダリングシステム機器の導入（富士通・HOPE）
- ② 医療機器の購入
 - ・HbA1c 測定装置（東ソー自動グリコヘモグロビン分析計）

（3）法人事業

- ① 広報活動の推進
 - ・ホームページの刷新（リニューアル）
 - ・立て看板の設置・補修
- ② 施設設備の維持管理及び環境整備
 - ・屋上排水溝清掃および補修工事（アスピーア）
 - ・駐車場区画線（白線）の再塗装
 - ・通所リハビリテーション出入口付近アスファルト舗装補修
- ③ ICT 化及び業務効率化の推進
 - ・ICT 導入支援補助金を活用した介護業務支援システム等の整備
 - ・業務改善助成金を活用した職場環境整備及び生産性向上への取組

6. 安全対策・感染対策

- ・消防訓練 2 回
- ・自然災害 BCP 研修 2 回
- ・感染症研修 2 回

7. 地域貢献事業

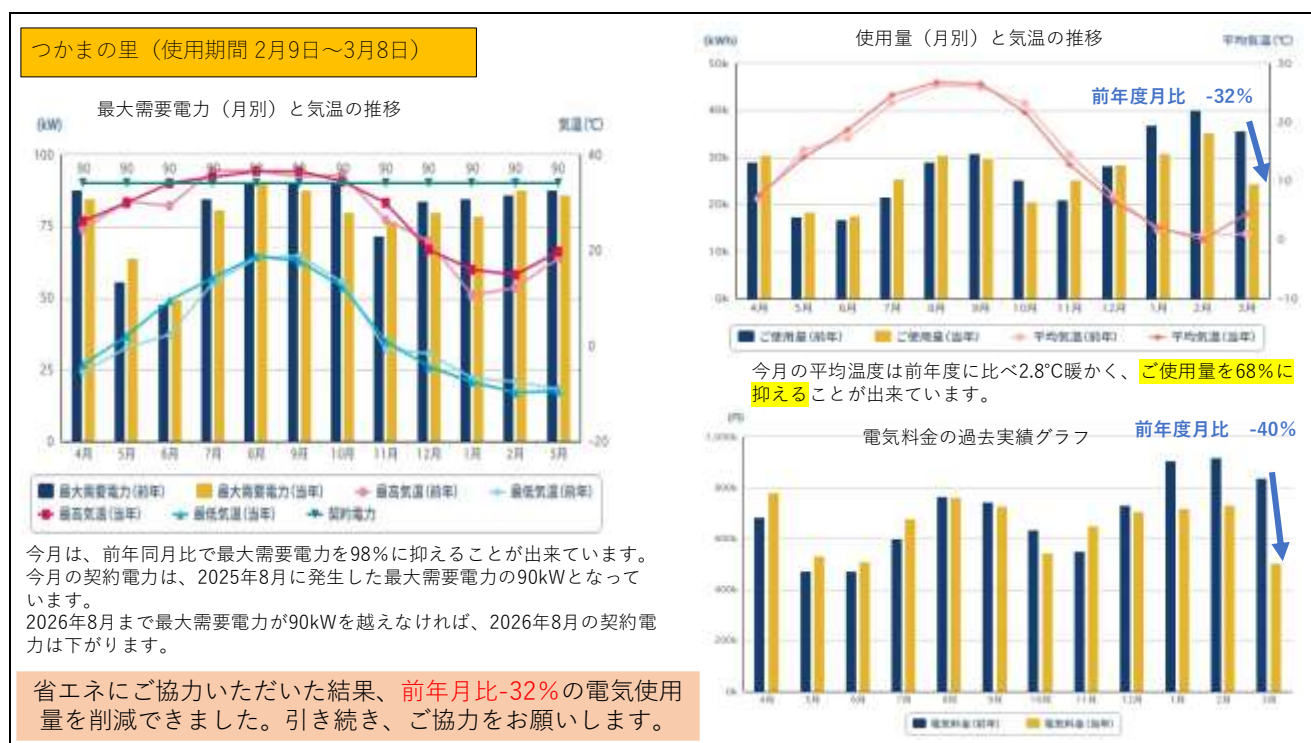
- ①臨床看護実習生の受入れ
 - ・信州大学医学部保健学科看護学専攻
 - ・松本看護大学看護学部看護学科
 - ・松本看護専門学校
- ②介護実習生の受入れ
 - ・松本短期大学介護福祉学科
- ③早期体験実習
 - ・信州大学医学部（1 年次実習）
- ④地域行事への参加（青山様ぼんぼん、三九郎、若宮神社祭り、筑摩神社祭り等）

8. 重点施策の実施状況

(1) ケアプラン連携システム導入準備

居宅介護支援事業所との情報共有強化を目的として、介護記録システムを導入して令和8年の運用開始に向けた準備を実施した。

(2) 省エネルギー活動



令和7年12月より施設全体で省エネルギー活動に取り組んだ。職員の省エネルギー及び脱炭素に対する意識向上を目的として、省エネ・脱炭素標語コンクールを開催するとともに、空調温度設定や設備の適正利用に関する周知・啓発を実施した。その結果、12月から3月までの電力使用量は前年同期比で約16%削減し、特に3月は前年同月比約32%の削減を達成した。

9. 今後の課題

- ・人材確保および定着
- ・通所リハビリテーション利用率の向上
- ・ICT活用の推進・運用の定着
- ・地域連携の強化
- ・南天診療所の外来患者数の増加
- ・施設外壁・空調システム等の修繕・更新計画の作成
- ・経営基盤の安定化

以上